

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
家庭	子どもの発達と保育	2	3	セラミック、デザイン	選択	子どもの発達と保育 実教出版

### 1. 学習の到達目標

子どもの発達の特長や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

### 2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
評価の規準	子どもに関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの発達や子育て支援に寄与していきこととする実践的な態度を身に付けている。	子どもの発達をふまえ、現状について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。	子どもの発達の特長、生活と保育に関する知識を総合的に身に付けている。
評価の方法	出席状況、授業態度、学習の取り組み状況、課題・レポート・ノート・作品などの提出物の状況、定期考査などを総合的に判断して評価します。			

### 3. 教科からのメッセージ

子どもの発達と保育では、子どもとのかかわりが子どもの育ちにとってとても大切な役割を持っていることを学びます。また、自分のあり方を振り返るということでもあります。さらに、保育とは子どもとともに育ちあうことといえるでしょう。

親だけでなく子どもを取り巻くすべての人々が、子どもの育ちについて学び、どのようにしたら人はいきいきと成長していくことができるのかを考えていきましょう。

「子どもの発達と保育」年間計画 単位数 (2 単位) 教科書 (実教出版)

月	学習内容	ねらい
4	1 章 子どもの発達の特性 1 節 発達と乳幼児期の意義 実習：子どもの被服製作	・子どもに関心を持ち、乳幼児期の意義について理解する。 ・子どもの快適な衣生活について理解し、衣生活を管理する力を身に付ける。
5	2 節 発達と保育環境 発達と保育環境のかかわり 実習：子どもの被服製作	・子どもの発達と保育環境のかかわりについて知り、保育環境を整えることの重要性について思考を深める。
6	2 章 子どもの発達の過程 1 節 子どもの発育 2 節 子どもの精神発達 実習：絵本の読み語り	・生命の誕生について関心を持ち、乳幼児の身体的特徴と生理的特徴についての知識を習得する。 ・子どもの精神発達の特徴を学び、乳幼児期が人格形成上大切な時期であることを理解する、 ・絵本の読み語りの意義を理解し、その技術を向上させる。
7	3 節 人間関係の発達 実習：離乳食	・人間関係の発達と子どもの人格形成について思考を深めるとともに、反抗期や子どもの行動の特徴を理解する。 ・子どもの栄養と健康について理解する。
9	3 章 子どもの生活 1 節 生活と養護 2 節 子どもの遊び 実習：音楽リズム表現技術	・子どもの健康を維持増進し順調な成長を促すうえで、発育や発達に応じた養護が必要なことを理解する。 ・子どもは遊びを通して発達することを理解し、遊びの援助ができるようにする。 ・音楽と情緒の安定、発達について理解し、音楽リズムの表現技術を学ぶ。
10	3 節 生活習慣の形成 4 節 健康管理と事故防止 実習：造形表現技術	・基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の意義と重要性を理解し、子どもの発達に即した適切な生活習慣について考える。 ・子どもの健康を守るための保育者の役割と子どもの病気・事故の特徴を知り、予防の必要性を理解する。 ・造形表現と心身の発達の関係を理解し、造形表現する力を身に付ける。
11	4 章 子どもの保育 1 節 保育の意義と重要性 2 節 家庭保育と集団保育 実習：家庭看護技術	・保育の意義と重要性に関心を持つ。 ・家庭保育と集団保育のそれぞれの特徴や役割を知り、子どもの発達に両方が必要であることを理解する。 ・子どもの健康、衛生を学び、基礎的な看護ができる。
12	5 章 子どもの福祉 1 節 子どもの福祉と子育て支援	・子どもの福祉に関心を持ち、児童福祉の理念や法律と制度について理解する。
1 2	2 節 子育て支援 実習：児童文化財	・子育て支援の意義と現状を理解し、課題と展望を考える。 ・子どもの児童文化財について学び、子どもの発達に応じた児童文化財を製作する。

